

車載用コントロールケーブル・パイプ製造の老舗

やまと興業株式会社（静岡県浜松市）

今回は老舗のバイク・自動車部品メーカー「やまと興業株式会社」取材した。小杉昌弘（こすぎ・まさひろ）社長。☎053-586-3111。〒434-0036 静岡県浜松市浜北区横須賀1136。

同社は、運転席のレバー操作などの弱い力をバイクや自動車の変速機や車輪に伝え、遠隔操作の媒介役をする「コントロールケーブル」を組み立て製造している。また、エンジンに燃料を供給する燃料用パイプ、潤滑油を供給するエンジンオイル用パイプなど「パイプ加工」を行っている。

パイプを変形させずに、美しく曲げる、特殊技術によるパイプ加工は、バイク・自動車メーカーから高い評価を得ている。中でも、電気炉で1,083度まで熱したパイプ鋼管に別のパイプ分岐鋼管を接合する「ブライトサイクス処理」は、製品の仕上がり精度が高く、品質の高さには定評がある。

★★★設立の経緯☆☆☆

やまと興業株式会社の設立者は小杉弘（こすぎ・ひろし）氏。小杉昌弘氏の父親である。静岡県浜松市生まれ。浜松市で鋤（すき）や鍬（くわ）などの農機具専門の鍛冶屋を営んでいた小杉弘氏は、昭和19年（1944年）1月、「やまと興業株式会社」を設立した。

昭和20年代（1950年代）後半から、浜松市でバイクメーカーが相次いで誕生した。それに伴い、バイク組み立て工場から、使用する各種工具の製作依頼が舞い込むようになった。やまと興業の本社工場は昭和30年（1955年）5月、ヤマハ発動機の「協力工場」となり、ヤマハのバイク工場の生産設備用機器の製造に乗り出した。

また、矢崎総業が保有していたコントロールケーブル用製造機械をヤマハ経由で譲り受け、昭和33年（1958年）4月から、バイク用「コントロールケーブル」の組み立て製造を本格開始した。



小杉昌弘・代表取締役社長

昭和39年（1964年）3月からは、IHIから購入した油圧式パイプベンダーを使ってハンドルなどのバイク用「パイプ部品」の曲げ加工を本格開始した。同年8月、「天竜工場」が浜松市天竜区山東に完成し操業を開始した。天竜工場では現在、ケーブル部を置き、各種コントロールケーブル加工を担当している。

★★★自動車部品へ進出☆☆☆

昭和57年（1982年）、創業者の小杉弘氏が代表取締役社長を辞任し、後任の社長として、息子の小杉昌弘氏が就任した。小杉昌弘社長は就任以来、従来のバイク部品に加え、新たに自動車部品の顧客の開拓に邁進している。

前身の鍛冶屋時代に培ったものづくりの知識と実績を活かし、部品を生産するための工具や加工機械などの道具づくりから始めた。長年にわたる生産設備の内製化の努力が実り、一層の小型化・軽量化を実現した自動車やバイク部品の商品化に成功し、さらなる受注獲得に繋げている。

昭和49年（1974年）8月、金属パイプのろう付けを電気炉を使用し連続的に行える新技術「ブライトサイクス処理」を本社工場で開始した。昭和59年（1984年）2月、超精密プレス機械を導入し、



本社工場

プレス加工を開始した。

平成元年（1989年）2月、樹脂金型と樹脂成形品の製造に着手した。CADによる金型の設計や金型の熱処理などの内製化を推進し、金型の受注から納期まで約1週間という短納期を実現している。また、複数台の射出成形機を導入し、夜間無人運転を行い、高品質な製品を迅速に安定供給している。

平成6年（1994年）1月、創業50周年を記念して新規事業の提案を社員から募集した。その成果は超高輝度LED（発光ダイオード）を使用する「ライト&エンターテイメント事業」の創出へと結実する。平成7年（1995年）11月、コンサートやスポーツ観戦者向けの応援グッズ「LEDチアライト」を発売した。また、店舗、個人住宅向け「LEDハウ斯拉ッピング」や、農作物を液肥で栽培する植物工場向け「LED植物育成ライト」を商品化している。

平成12年（2000年）1月、本社敷地内に新工場を建設した。本社工場では現在、設計を担当する生産支援部、イルミネーショングッズ開発を担当する商品部、品質管理部、営業部、パイプ部、ケーブル部を置いている。平成17年（2005年）9月、「都田（みやこだ）工場」が浜松市北区新都田に完成し操業を開始した。都田工場では現在、パイプ部を置き、パイプ加工、超硬工具加工、茶葉を200ナノまで細かくした健康緑茶の加工、販売を担当している。

★★★今後の注力商品☆☆☆

やまと興業では創業以来、バイク・自動車部品事業として、各種コントロールケーブル、ステンレスメッシュケーブル、スロットルワイヤー、油滑系・冷却系パイプ、ウォーターパイプ、ろう付け及び熱処理部品の製造・販売に取り組んでいる。

また、社員の柔軟な発想力から生まれたライト&エ



多様なコントロールケーブル



ウォーターパイプ

ンターテイメント事業として、夜間に駅ビルやテーマパークを超高輝度LEDで装飾する光事業や、園内で販売されているペンライトなどのイルミネーショングッズを企画・製造・販売する商品事業を展開している。

生産拠点として、本社・天竜・都田3工場に加え、中国・ベトナム・インドネシア3か国に現地法人を開設している。現地法人の3工場では日系バイクメーカーに各種コントロールケーブルの製造・販売を行っている。引き続き、コントロールケーブル、パイプ、樹脂成形品を積極的に販売していく。特にケーブルについては、機能は維持したまま重量のみを3分の1程度まで軽量化に成功し、これを武器にバイク・自動車用の国内外市場でのシェア拡大を狙う。

また、防災・減災・リラクゼーションの分野に貢献し、今後も普及促進が期待される商品として、非常時や、ピークカット用として使用される「ディーゼル自家発電装置」（定格出力20kVA、同150kVAの2タイプ）のほか、浜松型植物工場や真珠の養殖場向けLEDライト、健康緑茶の販売を拡大していく。